

第 2 章 現金・預金

1. 現金

《問題 1》 以下の事項にもとづいて、決算整理仕訳を行いなさい。なお、決算日は 3 月 31 日である。

1. 現金として処理してあった他人振出小切手を調べてみたところ、4 月 4 日が振出日の小切手 ¥120,000 がみつかった。
2. 現金として処理してあった他人振出小切手 ¥643,000 を精査したところ、¥520,000 分は 3 月中の振出日であったが、残額は振出日が 4 月となっていた。
3. 期中に売掛金の回収として ¥435,000 の他人振出小切手を受取っていたが、未処理であった。なお、¥435,000 のうち、¥145,000 決算日以降の振出日となっていた。

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
1				
2				
3				

《問題2》 以下の事項にもとづいて、決算整理仕訳を行いなさい。

1. 金庫の中を調査したところ、役員の借受メモ¥110,000が発見された。
2. 期中に役員から金庫より¥200,000を借受けた旨の連絡を受けていたが、未処理であった。
3. 期中に仮払金として処理していた¥340,000のうち、¥150,000は、役員の借受分であることが判明した。

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
1				
2				
3				

《問題3》 以下の資料にもとづいて、決算整理仕訳を行いなさい。なお、決算日は3月31日である。

1. 決算日の現金の帳簿残高は¥832,000であるが、現金の実際有高を調べたところ以下の事項が判明した。

通貨・・・¥520,000 他人振出小切手・・・¥310,000
 株式配当金領収書・・・¥75,000（未処理であった）
 期限の到来した公社債の利札・・・¥50,000（未処理であった）

2. 決算日の現金の帳簿残高は¥224,000であるが、現金の実際有高を調べたところ以下の事項が判明した。

通貨・・・¥180,000 他人振出小切手・・・¥45,000
 株式配当金領収書・・・¥62,000（未処理であった）
 期限の到来した公社債の利札・・・¥30,000（未処理であった）

3. 決算日の現金の帳簿残高は¥1,259,000であるが、現金の実際有高を調べたところ以下の事項が判明した。

通貨・・・¥811,000 他人振出小切手・・・¥440,000
 株式配当金領収書・・・¥154,000（未処理であった）
 期限の到来した公社債の利札・・・¥120,000（未処理であった）

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
1				
2				
3				

2. 預金

《問題1》 以下の資料にもとづいて、解答用紙の3種類の銀行勘定調整表を作成し、必要な修正仕訳を行いなさい。なお、不要な欄は『-』を記入すること。

1. 決算日(3月31日)の当座預金勘定残高は¥422,000であった。しかし、銀行から送られてきた残高証明書の残高は¥435,000だったので、差異の原因を調べたところ、以下の事項が判明した。

- (1) 決算日に預け入れた現金¥40,000が、銀行では翌日付入金として処理されていた。
- (2) 仕入先に振り出した小切手¥52,000が、決算日までに取立てが行われていなかった。
- (3) 仕入先に振り出す予定で作成された小切手¥15,000(記帳済み)が未渡しであった。
- (4) 通信費¥14,000が当座預金口座から引き落とされていたが、未処理であった。

① 残高証明書の残高を修正する方法

銀行勘定調整表			
銀行残高証明書の残高			¥()
(加算)	()	()	
	()	()	
	()	()	()
(減算)	()	()	
	()	()	
	()	()	()
当座預金勘定の残高			¥()

② 帳簿残高を修正する方法

銀行勘定調整表			
当座預金勘定の残高			¥()
(加算)	()	()	
	()	()	
	()	()	()
(減算)	()	()	
	()	()	
	()	()	()
銀行残高証明書の残高			¥()

③ 両者を修正する方法

銀行勘定調整表

当座預金勘定の残高	¥()	銀行残高証明書の残高	¥()
(加算) () ()		(加算) () ()	
() ()	()	() ()	()
(減算) () ()		(減算) () ()	
() ()	()	() ()	()
調整残高	¥()	調整残高	¥()

修正仕訳

	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)				
(2)				
(3)				
(4)				

2. 決算日（3月31日）の当座預金勘定残高は¥845,000であった。しかし、銀行から送られてきた残高証明書の残高は¥844,000だったので、差異の原因を調べたところ、以下の事項が判明した。

- (1) 得意先より売掛代金¥100,000が当座預金口座に振り込まれていたが、通知がなかったので未処理だった。
- (2) 広告宣伝費として振り出した小切手¥125,000が、決算日までに取立てが行われていなかった。
- (3) 以前振出していた約束手形¥170,000が、当座預金口座から引き落とされていたが未処理であった。
- (4) 決算日に預け入れた現金¥56,000が、銀行では翌日付入金として処理されていた。

① 残高証明書の残高を修正する方法

銀行勘定調整表

銀行残高証明書の残高					¥()
(加算)	()	()			
	()	()			
	()	()			()
(減算)	()	()			
	()	()			
	()	()			()
当座預金勘定の残高					<u>¥()</u>

② 帳簿残高を修正する方法

銀行勘定調整表

当座預金勘定の残高					¥()
(加算)	()	()			
	()	()			
	()	()			()
(減算)	()	()			
	()	()			
	()	()			()
銀行残高証明書の残高					<u>¥()</u>

③ 両者を修正する方法

銀行勘定調整表

当座預金勘定の残高	¥()	銀行残高証明書の残高	¥()
(加算) () ()		(加算) () ()	
() () ()		() () ()	
(減算) () ()		(減算) () ()	
() () ()		() () ()	
調整残高	¥()	調整残高	¥()

修正仕訳

	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)				
(2)				
(3)				
(4)				

3. 決算日（3月31日）の当座預金勘定残高は¥1,983,000であった。しかし、銀行から送られてきた残高証明書の残高は¥2,002,000だったので、差異の原因を調べたところ、以下の事項が判明した。

- (1) 仕入先に振り出す予定で作成された小切手¥20,000（記帳済み）が未渡しであった。
- (2) 修繕代金として振り出す予定で作成された小切手¥30,000（記帳済み）が未渡しであった。
- (3) 決算日に預け入れた現金¥44,000が、銀行では翌日入金として処理されていた。
- (4) 仕入先に振り出した小切手¥85,000が、決算日までに取立てが行われていなかった。
- (5) 以前振出していた約束手形¥94,000が、当座預金口座から引き落とされていたが未処理であった。
- (6) 得意先より売掛代金¥22,000が当座預金口座に振り込まれていたが、通知がなかったので未処理だった。

① 残高証明書の残高を修正する方法

銀行勘定調整表			
銀行残高証明書の残高			¥()
(加算)	()	()	
	()	()	
	()	()	
	()	()	()
(減算)	()	()	
	()	()	
	()	()	
	()	()	()
当座預金勘定の残高			¥()

② 帳簿残高を修正する方法

銀行勘定調整表			
当座預金勘定の残高			¥()
(加算)	()	()	
	()	()	
	()	()	
	()	()	()
(減算)	()	()	
	()	()	
	()	()	
	()	()	()
銀行残高証明書の残高			¥()

③ 両者を修正する方法

銀行勘定調整表

当座預金勘定の残高	¥()	銀行残高証明書の残高	¥()
(加算) () ()		(加算) () ()	
() ()		() ()	
() ()	()	() ()	()
(減算) () ()		(減算) () ()	
() ()		() ()	
() ()	()	() ()	()
調整残高	¥()	調整残高	¥()

修正仕訳

	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)				
(2)				
(3)				
(4)				
(5)				
(6)				

《問題2》 次の資料にもとづいて、貸借対照表および損益計算書（一部）を作成しなさい。
 なお、決算日は3月31日である。

【資料1】 決算整理前残高試算表

残 高 試 算 表		(単位:千円)	
×5年3月31日			
現 金	32,200	支 払 手 形	160,000
当 座 預 金	55,500	買 掛 金	90,000
定 期 預 金	80,000	⋮	
受 取 手 形	200,000	受 取 利 息	3,250
売 掛 金	117,000	有 価 証 券 利 息	150
⋮		受 取 配 当 金	300

【資料2】 決算整理事項

現金預金を実査したところ、次の事実が判明した。

1. 現金

- | | |
|--------------------|-----------------|
| (1) 通貨 | 31,300 千円 |
| (2) 先日付小切手 | 1,000 千円 |
| (3) 支払期日の到来した社債の利札 | 150 千円 (未処理である) |
| (4) 配当金領収証 | 500 千円 (未処理である) |

2. 当座預金

銀行残高証明書残高 61,600 千円との差額は、次の原因による。

- | | |
|---------------------------------|----------|
| (1) 売掛金の当座預金振込済で未通知のもの | 2,300 千円 |
| (2) 掛代金支払のために振り出した小切手で銀行に未呈示のもの | 3,500 千円 |
| (3) 広告宣伝費支払のために振り出した小切手で未渡しのもの | 800 千円 |
| (4) 借入金利息の当座預金引落しで未通知のもの | 500 千円 |

3. 定期預金

- | | |
|--------------------------------------|------------|
| (1) 期間3年で30,000千円 (×3年2月1日～×6年1月31日) | 年利率5% 半年払) |
| (2) 期間4年で50,000千円 (×2年6月1日～×6年5月31日) | 年利率6% 半年払) |

貸 借 対 照 表

×5年3月31日

(単位:千円)

I 流動資産		I 流動負債	
現金預金	()	支払手形	()
受取手形	()	買掛金	()
売掛金	()	未払金	()
未収収益	()		
II 固定資産			
投資その他の資産			
長期性預金	()		

損 益 計 算 書

自×4年4月1日 至×5年3月31日

(単位:千円)

IV 営業外収益	
1. 受取利息	()
2. 有価証券利息	()
3. 受取配当金	()
4. 雑 益	() ()

《問題3》 次の資料にもとづいて、貸借対照表および損益計算書（一部）を作成しなさい。
 なお、決算日は12月31日である。

【資料1】 決算整理前残高試算表

残 高 試 算 表		(単位:千円)	
×6年12月31日			
現 金	95,600	支 払 手 形	420,000
当 座 預 金	228,500	買 掛 金	260,000
定 期 預 金	320,000	⋮	
受 取 手 形	540,000	受 取 利 息	9,500
売 掛 金	386,000	有 価 証 券 利 息	1,200
⋮		受 取 配 当 金	3,000

【資料2】 決算整理事項

現金預金を実査したところ、次の事実が判明した。

1. 現金

- | | |
|--------------------|-------------------|
| (1) 通貨 | 53,900 千円 |
| (2) 他人振出小切手 | 38,400 千円 |
| (3) 役員の一時融資の際の仮受メモ | 2,300 千円 |
| (4) 支払期日の到来した社債の利札 | 1,200 千円 (未処理である) |
| (5) 配当金領収証 | 5,400 千円 (未処理である) |

2. 当座預金

銀行残高証明書残高 210,000 千円との差額は、次の原因による。

- | | |
|-----------------------------------|-----------|
| (1) 決算日に預け入れた現金で翌日付入金として処理されているもの | 20,000 千円 |
| (2) 備品支払のために振り出した小切手で銀行に未渡しのもの | 31,500 千円 |
| (3) 掛代金支払のために振り出した小切手で銀行に未呈示のもの | 30,000 千円 |
| (4) 以前振出していた約束手形の当座預金決済で未処理のもの | 60,000 千円 |

3. 定期預金

- | |
|--|
| (1) 期間4年で200,000千円 (×4年10月1日～×8年9月30日 年利率4% 半年払) |
| (2) 期間5年で120,000千円 (×2年8月1日～×7年7月31日 年利率5% 半年払) |

貸 借 対 照 表

×6年12月31日

(単位:千円)

I 流動資産		I 流動負債	
現金預金	()	支払手形	()
受取手形	()	買掛金	()
売掛金	()	未払金	()
役員短期債権	()		
未収収益	()		
II 固定資産			
投資その他の資産			
長期性預金	()		

損 益 計 算 書

自×6年1月1日 至×6年12月31日 (単位:千円)

IV 営業外収益			
1. 受取利息	()		
2. 有価証券利息	()		
3. 受取配当金	()	()	
V 営業外費用			
1. 雑 損		()	

《問題 4》 以下の資料にもとづいて、定期預金に関する決算整理仕訳（決算日は×7年3月31日）を行いなさい。なお、定期預金はいずれも流動資産（現金預金勘定）として記帳されている。

1. 定期預金¥2,000,000（×5年1月1日預入、満期日×9年12月31日、利率年2%で半年払）
2. 定期預金¥1,500,000（×7年2月1日預入、満期日×8年1月31日、利率年1%で半年払）
3. 定期預金¥3,000,000（×6年3月1日預入、満期日×8年2月28日、利率年3%で半年払）

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
1				
2				
3				